

- 問1 19世紀のイギリス・インド・清の三者間で行われた「三角貿易」の構造について、各国の品物の流れを説明したものとして正しいものはどれですか。 (2016年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. イギリスからインドへ綿織物を送り、インドから清へアヘンを送り、清からイギリスへ茶を送る仕組み | 2. イギリスから清へアヘンを送り、清からインドへ茶を送り、インドからイギリスへ銀を送る仕組み | 3. イギリスから清へ毛織物を送り、清からインドへ茶を送り、インドからイギリスへ綿織物を送る仕組み | 4. イギリスからインドへ銀を送り、インドから清へ綿織物を送り、清からイギリスへアヘンを送る仕組み |
|---|---|---|---|
- 問2 1865年の横浜港における輸出総額は約1,747万ドルにのびりましたが、そのうち約84%という圧倒的な割合を占めていた当時の主要な輸出品は何ですか。 (2016年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|------|-------|
| 1. 綿織物 | 2. 毛織物 | 3. 茶 | 4. 生糸 |
|--------|--------|------|-------|
- 問3 幕末の日本における貿易相手国の変化と、その背景にある国際情勢について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. アヘン戦争の結果、アメリカが日本に対して貿易制限を行ったため、オランダとの貿易額が急増した。 | 2. アメリカ独立戦争の影響でアメリカの国力が低下し、代わってフランスが日本の最大の貿易相手国となった。 | 3. ベトナム戦争の影響により、アメリカから日本への武器の輸出が停止し、代わってイギリスが輸入を独占した。 | 4. アメリカが南北戦争によって国内の紛争に注力したため、日本との貿易においてイギリスの存在感が増した。 |
|---|--|---|--|
- 問4 1858年に日本がアメリカなど5か国と結んだ日米修好通商条約などの条約は、日本にとって不平等な内容を含んでいました。この条約において、日本が認めた「日本で罪を犯した外国人を、その国の領事が裁判にかける権利」と、日本に認められていなかった「輸入品に対して自国で税率を決める権利」の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2015年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------|------------------|---------------|----------------|
| 1. 領事裁判権と関税自主権 | 2. 領事裁判権と賠償金の支払い | 3. 内政不干涉と下関条約 | 4. 領土の割譲と関税自主権 |
|----------------|------------------|---------------|----------------|
- 問5 幕末の動乱期における大老・井伊直弼の政治的行動とその経緯について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 朝廷と幕府の結びつきを強める公武合体を推進したが、薩摩藩と長州藩が結んだ同盟によって江戸幕府を滅亡に導いた。 | 2. 日米和親条約を結んで下田と箱館を開港し、鎖国体制を平和的に終結させたが、攘夷派の反対により失脚した。 | 3. 日米修好通商条約の調印を強行し、反対派を安政の大獄で弾圧したが、その後桜田門外の変で殺害された。 | 4. 政権を朝廷に返す大政奉還を行うことで徳川家を存続させようとしたが、倒幕派の反発により戊辰戦争へと発展した。 |
|---|---|---|--|
- 問6 江戸幕府が日米修好通商条約を締結し、横浜や神戸などの「開港場」を設けたことによる当時の社会への影響や背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 大老の井伊直弼が天皇の許可（勅許）を得ないまま調印したため、反対勢力による尊王攘夷運動が激しくなった。 | 2. 貿易の開始によって国内の生糸が不足し、物価が下落したことで、庶民の生活は非常に豊かになった。 | 3. 開港場では外国人の居住や貿易が認められたが、日本側の裁判権が認められていたため、法的な混乱は生じなかった。 | 4. 日本に関税自主権が認められていたため、安価な外国製品に高い関税をかけて国内の産業を保護した。 |
|--|---|--|---|
- 問7 江戸幕府が結んだ日米修好通商条約が、なぜ「不平等条約」と呼ばれるのか、その制度上の理由を述べたものとして正しいものはどれですか。 (2025年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. アメリカの軍艦が日本の沿岸を自由に測量し、軍事基地を建設する権利を認めていたから。 | 2. 日本国内で罪を犯した外国人を、その国の領事が裁判する権利を日本側が認めていたから。 | 3. 日本側がアメリカに対して、一方的に最恵国待遇を与えることが定められていたから。 | 4. 日本が輸出品に対して自由に高い税率をかけ、アメリカの利益を損なう仕組みだったから。 |
|--|--|--|--|
- 問8 大老の井伊直弼が「安政の大獄」と呼ばれる大規模な弾圧を強行した歴史的な背景について、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. オランダ商館長から開国の勧告を受けたことで、速やかに身分制度を廃止し、西洋風の近代国家を樹立しようとしたため。 | 2. 不平等条約の改正を求める民衆の暴動を鎮圧し、江戸の治安を維持するために厳しい罰則を設ける必要があったため。 | 3. 天皇の許可を得ないまま独断で条約を結んだことや、将軍の後継者問題をめぐって幕府を批判する反対派を排除するため。 | 4. 藩籍奉還や廃藩置県に反対し、武力による倒幕を計画していた薩摩藩や長州藩の指導者を一掃するため。 |
|--|--|--|--|
- 問9 1825年に出された異国船打払令では、日本に近づく外国船を無差別に追い返すよう命じていましたが、1842年に幕府はその方針を転換しました。このとき、遭難した外国船に対して燃料や食料、水などを与えて帰帆させることとした法令を何といいますか。 (2020年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|----------|-----------|
| 1. 薪水給与令 | 2. 公事方御定書 | 3. 武家諸法度 | 4. 異国船打払令 |
|----------|-----------|----------|-----------|
- 問10 1858年、大老の井伊直弼は天皇の許可を得ないままアメリカとの間に日米修好通商条約を調印しました。この条約締結を批判した公家や大名、志士たちを厳しく弾圧した出来事と、その弾圧への反発から井伊直弼が暗殺された事件の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------|-------------------|----------------|----------------|
| 1. 公武合体 — 禁門の変 | 2. 安政の大獄 — 桜田門外の変 | 3. 廃藩置県 — 西南戦争 | 4. 大政奉還 — 戊辰戦争 |
|----------------|-------------------|----------------|----------------|
- 問11 18世紀のイギリスは、清からある品物を大量に輸入したことで深刻な貿易赤字に陥りました。その際に決済代金として清へ支払われ、イギリスから大量に流出したものは何ですか。 (2021年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|--------|------|------|
| 1. 銅銭 | 2. 綿織物 | 3. 銀 | 4. 金 |
|-------|--------|------|------|
- 問12 18世紀後半のイギリスにおいて、ワットによる蒸気機関の改良などをきっかけに、手工業から機械を用いた工場での大量生産へと移行し、産業や社会の仕組みが劇的に変化した出来事を何というか、名称を答えなさい。 (2017年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 農業革命 | 2. 市民革命 | 3. 産業革命 | 4. 宗教改革 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問13 1859年に横浜などの港が開かれた後、日本から最も多く輸出された品物と、当時の日本と外国との金銀交換比率の差によって国外へ大量に流出した貴金属の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2024年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|---------|---------|
| 1. 生糸・銀 | 2. 茶・金 | 3. 生糸・金 | 4. 綿糸・銀 |
|---------|--------|---------|---------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 イギリスからインドへ綿織物を送り、インドから清へアヘンを送り、清からイギリスへ茶を送る仕組み	イギリスは自国の産業革命で生産された綿織物をインドへ輸出し、インドではアヘンを生産させて清へ密輸させました。そして清からイギリスへ茶を輸出させることで、最終的にイギリスから流出した銀が回収されるという循環構造を築いていました。これがアヘン戦争へとつながる国際的な背景となりました。
問2	答え 4 生糸	開国後の日本において、輸出の大部分を占めたのは生糸でした。当時、ヨーロッパでは蚕の病気が流行して養蚕業が打撃を受けていたため、日本の生糸に対する需要が非常に高まっていました。次いで茶が約10%を占めており、これら農産物や一次産品が幕末の日本の輸出を支えていたことがわかります。一方、綿織物や毛織物は当時の主要な輸入品であり、選択肢としては誤りです。
問3	答え 4 アメリカが南北戦争によって自国内の紛争に注力したため、日本との貿易においてイギリスの存在感が増した。	開国当初の日本において、アメリカは外交・貿易の両面で主導権を握っていましたが、1861年に勃発した南北戦争により対外政策が停滞しました。この隙を突く形で、世界最大の工業力を誇っていたイギリスが日本への進出を強め、1860年代半ばには日本の貿易額の大部分をイギリスが占める状況が生まれました。
問4	答え 1 領事裁判権と関税自主権	幕末に結ばれた条約では、日本国内で罪を犯した外国人を日本の法律で裁くことができない「領事裁判権（治外法権）」を認め、さらに輸入品にかかる税率を日本側が自由に決定できない「関税自主権の欠如」という、国家の主権を制限される不平等な内容が盛り込まれました。これらを改正することは、明治政府にとっての最優先の外交課題となりました。
問5	答え 3 日米修好通商条約の調印を強行し、反対派を安政の大獄で弾圧したが、その後に桜田門外の変で殺害された。	井伊直弼は、勅許（天皇の許可）がないまま日米修好通商条約に調印し、開国を断行しました。これに反対する勢力を「安政の大獄」で徹底的に排除したことが、幕府の権威を失墜させ、のちの倒幕運動へとつながる大きなきっかけとなりました。
問6	答え 1 大老の井伊直弼が天皇の許可（勅許）を得ないまま調印したため、反対勢力による尊王攘夷運動が激しくなった。	日米修好通商条約は、大老の井伊直弼が孝明天皇の勅許を得ずに無断で調印したため、幕府への批判が高まり、尊王攘夷運動が激化する要因となりました。また、この条約は日本に関税自主権がなく、領事裁判権を認めるという不平等な内容であったほか、貿易の開始によって生糸などの物資が不足し、激しいインフレーション（物価高騰）を招いたのが実際の影響です。
問7	答え 2 日本国内で罪を犯した外国人を、その国の領事が裁判する権利を日本側が認めていたから。	不平等とされる最大の要因の一つは、領事裁判権（治外法権）の承認です。これにより、外国人が日本で犯罪を犯しても日本の法で裁くことができず、主権が侵害されている状態でした。もう一つの大きな要因は、関税自主権の欠如であり、日本が自国の産業を保護するために輸入品の税率を自由に決めることができなかった点が挙げられます。
問8	答え 3 天皇の許可を得ないまま独断で条約を結んだことや、将軍の後継者問題をめぐって幕府を批判する反対派を排除するため。	井伊直弼は、日米修好通商条約を勅許なしに調印したことで、尊王攘夷派から激しい批判を浴びていました。また、13代将軍・徳川家定の次の跡継ぎをめぐる争い（将軍継嗣問題）においても、強引に徳川慶福（のちの家茂）を擁立したため、反対派との対立が深まっていました。これらの批判勢力を一掃し、幕府の権威を立て直すために安政の大獄が引き起こされ、吉田松陰などの志士や公卿、大名が処罰されました。
問9	答え 1 薪水給与令	江戸幕府は1842年、それまでの強硬な姿勢を改め、外国船に薪（燃料）や水、食料を分け与える薪水給与令を出しました。これは、隣国の清がアヘン戦争でイギリスに敗れたという情報が伝わり、幕府が西洋列強との直接的な軍事衝突を避けようとしたために行われた方針転換です。
問10	答え 2 安政の大獄 ― 桜田門外の変	井伊直弼は独断で条約を結んだことに対する反対運動を抑え込むため、安政の大獄を実施して吉田松陰らを処刑しました。この強権的な政治は尊王攘夷派の激しい怒りを買い、1860年に江戸城の桜田門外において、水戸藩の元浪士らによって暗殺される「桜田門外の変」が起こりました。
問11	答え 3 銀	18世紀、イギリスでは喫茶の習慣が広まったことで、清から「茶」を大量に輸入するようになりました。しかし、当時の清はイギリスの工業製品を必要としなかったため、イギリスは代金として大量の「銀」を支払う必要があり、これが大幅な貿易赤字の原因となりました。
問12	答え 3 産業革命	18世紀後半のイギリスでは、石炭を燃料とする蒸気機関が動力源として実用化されたことで、綿織物工業を中心に機械化が進みました。この技術革新は、単なる技術の進歩に留まらず、社会の構造を根本から変える大きな転換点となりました。
問13	答え 3 生糸・金	幕末の開国にともなう貿易において、日本からは生糸や茶が主要な輸出商品となりました。中でも生糸は、当時のヨーロッパでカイコの病気が流行していた背景もあり、最大の輸出額を記録しました。また、当時の日本では金と銀の交換比率が外国と異なり、海外に比べて金が高く設定されていたため、利得を狙った外国人によって大量の金が国外へ持ち出される事態となりました。